

Alibaba Cloud Cloud Computing ハンズオン 中級

パラメータシート

前提

- このハンズオンは1部の行程でAlibaba Cloud root アカウントが必要です。
- RAMアカウントで参加されている方は、1部の作業が行えない可能性がありますので、事前にお申し出ください。

RAM

handson ユーザを作成

handson ユーザをクリックし、【コンソールへのログインの有効化】

handsonGRP グループを作成

handsonGRP グループに、handson ユーザを追加

handsonGRP グループに、以下のポリシーを付与

AliyunOSSFullAccess

AliyunECSFullAccess

AliyunRDSFullAccess

AliyunSLBFullAccess

AliyunVPCFullAccess

AliyunEIPFullAccess

AliyunBSSReadOnlyAccess

AliyunActionTrailFullAccess

AliyunCloudMonitorFullAccess

handson-oss ユーザを作成。同時にAccessKeyを作成。

AKを記録する

handson-oss ユーザに、以下のポリシーを付与

AliyunOSSFullAccess

VPC

Region: ap-northeast-1 / Japan(Tokyo)

Name: myvpc

CIDR: 10.0.0.0/8

vSwitch

Name: myswitch

Zone: Tokyo Zone A

CIDR: 10.168.0.0/24

ECS

価格モデル：従量課金

リージョン：日本(東京)

ゾーン：アジア東北 ゾーンA

インスタンスタイプ： ecs.sn1ne.large 2 vCPU 4 GiB

インスタンス数：1

イメージ：CentOS 8.1

ストレージ：Ultra クラウドディスク 40GB

ネットワーク：VPC: myvpc VSwitch: myswitch

ネットワーク課金タイプ：ON パブリックIPアドレスの割り当て

帯域幅の課金：トラフィック課金

ピーク帯域幅：5Mbps

セキュリティグループ：mysg (ssh/httpをOpen)

ログイン認証：キーペア

キーペア：MyKey (新規作成する) ※キーは大切に保存する。

インスタンス名：MyECS1

ホスト名: myecs1

詳細設定-ユーザ情報：※以下の短縮URLのスク립トをコピーして貼り付け

<https://bit.ly/aliyun-wordpress-setting>

作成完了後、パブリックIPアドレスをメモ

RDS

従量課金を選択

リージョン: 日本

DBエンジン: MySQL

バージョン: 5.7

エディション: ハイアベイラビリティ

ストレージ: ローカルSSD

プライマリノードのゾーン: 日本1ゾーンA

デプロイ方法: マルチゾーンデプロイ

インスタンスタイプ: rds.mysql.s1.small 2コア 4GB

容量: 5GB

ネットワークタイプ: VPC

VPC: myvpc(10.0.0.0/8)

プライマリノードのvSwitch: myswitch(10.168.0.0/24)

パラメーターテンプレート: 高性能パラメーターテンプレート

タイムゾーン: UTC+09:00

料金は 数円～数十円/時間 となります。金額が高いと注意！

完了後、名前を設定。

名前: myrds

※豆知識: 最大接続数はインスタンスタイプによって決まる

ホワイトリストに1台のECSのプライベートIPアドレスを追加

グループ名: myecs

イントラネットアドレスをメモ

RDS アカウント作成

データベースアカウント: wordpress

アカウントタイプ: 標準アカウント

許可済みデータベース: 指定無し

パスワード: w@rdPress

RDS データベース作成

データベース(DB)名: wordpress
サポートされる文字コード : utf8mb4
許可されたアカウント : wordpress
アカウントタイプ : 読み取り/書き込み

(参考)

```
mysql -h rm-*****.mysql.japan.rds.aliyuncs.com \  
--user=wordpress -p wordpress  
Password:  
で接続出来ることを確認
```

Wordpressの設定

ECS 『MyECS1』 の IP (パブリック IPv4)アドレス で WordPress に接続する

言語 : 日本語
データベース名 : wordpress
ユーザー名 : wordpress
パスワード : w@rdPress
データベースのホスト名 : 自分のRDSのイントラネットアドレス
テーブル接頭辞 : wp_ (任意)

サイトのタイトル : my wordpress (任意)
ユーザ名 : 自分の名前などをアルファベットで (任意)
パスワード : ランダムなものを指定 (任意)
メールアドレス : 自分のアドレス
※このユーザ名、パスワードは、次の画面で使うので覚えておいてください。
※メールはOutbound Port 25 blockのため今の状態では届きません。

チェック : 検索エンジンがサイトをインデックスしないようにする

WordPress でテキスト投稿してみる

OSS バケットを作成

リージョン : Japan(Tokyo)
ストレージクラス: 標準ストレージ
ACL : 公開読み取り
サーバー側暗号化 : いいえ
リアルタイムログ参照 : Disable

インターネットアクセスの「Bucketドメイン名」をコピー

ALiyun OSSプラグインを設定する

WordPressの管理画面にて
Aliyun OSSを有効化、設定をクリック

AccessKey : xxxxxxxxx
AccessKeySecret : xxxxxxxxx
※handson-oss RAMユーザのAccessKeyとSecretを入力します
Region/Endpoint: oss-ap-northeast-1

Bucket : handson-(Name)
Bucket Host : インターネットアクセスの「Bucketドメイン名」を指定

WordPress で画像付き投稿してみる

投稿が上手くいったら、OSSにアップロードされていることを確認する

カスタムイメージを作成する

ECS画面で、MyECS1インスタンスの右から、[ディスクとイメージ] - [カスタムイメージの作成]
イメージ名 : myimage
イメージの説明 : wordpress master image

2台目のECSを作成

価格モデル：従量課金
リージョン：アジア東北1(東京)
ゾーン：アジア東北 ゾーンA
インスタンスタイプ： ecs.sn1ne.large / 2 vCPU / 4 GiB
インスタンス数：1
イメージ： カスタムイメージ myimage
ストレージ： Ultra クラウドディスク 40GB
ネットワーク： VPC: myvpc VSwitch: myswitch
ネットワーク課金タイプ： ON パブリックIPアドレスの割り当て
セキュリティグループ： mysg
ログイン認証： キーペア
キーペア： 適切なものを選択
インスタンス名： MyECS2
ホスト名: myecs2

ユーザ情報：

...

```
#!/bin/bash  
uname -n >> /var/www/html/check.html
```

...

作成完了後、パブリックIPアドレスをメモ

RDS

ホワイトリスト myecs に2台のECSのプライベートIPアドレスを追加

SLB

リージョン：東京（日本）
ゾーンタイプ：マルチゾーン
プライマリ：日本ゾーンA ※ここ大切
バックアップ：日本ゾーンB
インスタンス名：MySLB
スペック：スモールI (slb.s1.small)
インスタンス：インターネット
課金タイプ：トラフィックに応じた
数量：1
今すぐ購入

リスナーの設定

プロトコルとリスナー

負荷分散プロトコルの選択 HTTP

リスニングポート 80

リスナー名 80

バックエンド サーバー

リクエストの転送先 デフォルトのサーバーグループ

追加済みサーバー

追加 (『MyECS1』 『MyECS2』 を追加)

『MyECS』 ポート80 重み100

『MyECS2』 ポート80 重み100

ヘルスチェック

ヘルスチェックの有効化 ON

高度な設定

ヘルスチェックへのパス /check.html

ヘルスチェック間隔 30 ※ヘルスチェックで負荷が上がる可能性

後片付け

ハンズオン終了後、リソースをすべて削除したい場合は、以下の順番で削除をするとスムーズです。そのままにしておくと課金されてしまうので課金リソースだけでも削除しておいてください。

- ・ SLB削除 (課金リソース)
- ・ ECS削除 (課金リソース)
- ・ セキュリティグループ削除
- ・ SSHキーペア削除
- ・ RDS削除 (課金リソース)
- ・ VSwitch削除
- ・ VPC削除
- ・ OSSバケットの削除 (5GB以内は無料) (課金リソース)
- ・ RAMユーザ・AccessKey削除
- ・ 補足：ローカルのmykey.pemも削除を推奨します